

私の 選択

27

イチゴ35坪を中心に落花生20坪、水稲50坪を栽培しています。イチゴの品種は静岡県オリジナルの「きらび香」で、全量をJAに出荷しています。今年は夏場の高温と10月の低温の影響もあって生育が遅れ、本格的な収穫は例年より2週間程度遅い12月10日ごろからになるとみえています。収入保険には、2019年の制度スタートと同時に加入しました。設備投資をするには、収入を安定させることが重要です。そのため以前から、こつこつと保険があつたらいい

萩 真教さん イチゴ 静岡県



いなど思っていました。加入2年目、3年目にイチゴに炭疽病が発生して収量が減少。収入が落ち込み、保険金を受け取りました。コロナ禍でイチゴの単価が下がった

ね。売上げが落ちても資材の支払いなどの経費は変わりませんし、パートさんの給料も必要です。万一の場合でも一定の金額が補償されるので安心できます。

環境制御システムを導入する萩さん
影響もあり、収入保険に加入して良かったと実感しました。
けがや病気で作業できない場合の収入減少が補償されるのも利点です

園芸施設共済にも加入しています。以前、暖房機が漏電で燃えてしまったことがありますが、ハウス本体だけでなく、附帯施設にも加入していたので、共済金が出て助かりました。

富士宮市は富士山のおかげで台風の影響は受けにくい場所です。また、富士山の裾野で傾斜があり、水がたまりにくく水害もあまりありません。ただ、最近は台風が年々大きくなっているようです。うちにはハウスが老朽化してきているので、特に風の被害が怖いですね。

病害、単価下落、けがや病気……もしものときも補償で安心

やはり、保険による備えは必要だと思います。周囲の農家にも収入保険の特徴と自分の経験を説明して、加入を勧めたいです。NOSAIの担当職員には推進の際に私の例を出していいですよと伝えてあります。

一昨年、イチゴのハウスに環境制御システムを導入しました。室温調整や灌水、炭酸ガス施用などが自動化され、省力化につながりました。環境制御を入れたからといって、100%良いものが取れるわけはありません。やはり、農家の見える目が大切です。今後は蓄積されたデータを基に改善を重ね、品質を向上させていきたいです。

(富士宮市、44歳)